

処方せん形式変更に伴う連絡体制の変更点

2017年3月 福岡徳洲会病院 薬剤部

1 回量処方へ変更となります

2017年3月より、内服薬処方せんの記載方法を現行の「1日量処方」から、「1回量処方」へ変更いたします。

表示例)

(1日量処方)	【般】ロキソプロフェン Na 錠 60mg 1日3回 朝昼夕食後	3錠 14日分
	↓	
(1回量処方)	【般】ロキソプロフェン Na 錠 60mg 1日3回 朝昼夕食後	1回1錠(1日3錠) 14日分

臨床検査値を表示いたします

2017年3月より、院外処方せんに処方監査に必要な患者さんの一部臨床検査値を表示いたします。調剤薬局においては患者さんの検査値が確認できることにより、肝機能・腎機能に応じた適正な用法用量の確認、相互作用や副作用の早期発見、検査値に基づき患者さんへの有効な服薬指導の実施等が可能になります。

このことにより、外来患者における薬物療法の安全性、有効性の向上につながると考えられます。

表示する臨床検査値

AST、ALT、T-Bil、Cre、e-GFR、CK、Alb、Na、K、Ca、P、Mg、UA、LDL-C、PT-INR、HbA1c、WBC、Hb、PLT

以上 19 項目です。上記以外の検査値を確認されたい場合は患者さんにご確認ください。

記載される臨床検査値は過去 3 か月以内に測定された直近の値です。（3 か月以内に測定された値がない場合は空欄で表示されます）

<注意点>

1 回の測定値で判断することなく、経時的な変化、病態、他の検査値との関連も考慮して下さい。

e-GFR は投与量決定には使用せず、補正を外して検討して下さい。

処方せん二次元バーコードを表示します

処方データが取り込めるように二次元バーコードを表示いたします。

連絡体制が一部変更になります

上記処方せん形式の変更に伴い、連絡体制の一部が変更になります。（処方せん形式の変更点詳細は「処方せん形式変更（2017年3月）」をご参照ください。

疑義照会報告

疑義照会内容について、2017年2月までは処方せんの通信欄に記載していただいておりましたが、通信欄がなくなりますので備考欄に記載のうえFAXでの報告をお願いします。

枠が足りない場合は「様式1：疑義照会報告書」をご利用ください。

疑義照会の受付方法は変更ございません。

変更調剤報告

「処方薬を後発医薬品へ変更して調剤した医薬品名」、「一般名処方の方の医薬品において実際に調剤した医薬品名」の報告について、2017年2月までは処方せん右半面の所定の欄に記載していただいておりましたが、欄がなくなりましたので「当院ホームページ▶医療関係者の皆様へ▶薬剤部▶調剤薬局の方へ」に掲載しております「様式2：変更調剤報告書」に必要事項を記載のうえ、FAXでの報告をお願いします。

以上、お取り計らいのほどよろしくお願いいたします。